

ジンベエザメシュノーケリング確認事項

Whale Shark Snorkeling Precautions

シュノーケリングは、身体的に激しい活動になります。お客様ご自身の安全管理・体調管理は、各自の自己責任でしっかり行ってください。(前日の飲酒も、海難事故に繋がります。充分ご注意ください)

本ツアーへのご参加に際しましては、耳鼻咽喉系、呼吸器系、循環器系に疾患がなく、これらの状態が正常かつ良好でなければご参加いただけません。

加えて、高血圧、低血圧、意識障害、メニエール病、うつ病、躁病、けいれん発作、ヘルニア、脳脊髄関係の疾病、心臓循環器系の疾病、発作の常習がある、気胸、アルコール又は薬物への依存、肺の疾病、大きな手術の経験、腸閉塞、ぜんそく、糖尿病、てんかん、などの症状がある又は病歴のある場合には、専門の医師に相談し許諾を受けなければ本ツアーへはご参加頂けません。

妊娠中の方も本ツアーへはご参加いただけませんので、予めご了承ください。また、泳げる・泳げないに関わらず、必ずライフジャケットをご着用ください。

ご参加いただくには、免責同意書への同意(署名)が必要です。

●シュノーケルの使い方

・呼吸方法

シュノーケルは口だけで呼吸する為、慣れないと違和感があります。まずは、潜る前に口だけを使って呼吸をする事に慣れましょう。

1. 最初に、マスクとシュノーケル装着し、口で呼吸してみましょう。
2. マスクとシュノーケルに慣れてきたら、顔を水面につけてシュノーケルで呼吸してみましょう。水圧が掛かってしまうので少し息苦しくなりますが、呼吸がなれるまで練習しましょう。
3. 呼吸になれてきたら、実践です。水中では呼吸が苦しくなりがちになり、パニックを起こす事があります。対策のコツとして、息を吐く事に集中しましょう。吐く事ができれば自然と空気を吸う事ができるので、パニックになりにくくなります。
※注意：鼻で呼吸をしてしまうとマスクと顔の間に隙間ができ、浸水したりマスクが曇る事があります。

・水のクリア(吐き出し方)の方法

シュノーケルをつけたまま潜ると、シュノーケルの内部に水が入ってきます。そのまま呼吸をすると、口の中に水が入ってきて呼吸ができずパニックになる場合があります。この時の対処として「クリア」があります。クリアは潜ったときにシュノーケルに入ってきた水を排出するテクニックです。

1. 練習として、一度シュノーケルを水につけましょう。
2. 水が入ったままのシュノーケルを咥えて「ぶっ」っと息を吹いて水を吐き出します。すると、勢いよく水がシュノーケル先端と排水弁から水が排出されて息が出来るようになります。
3. 水をクリアすることが慣れてきたら実践です。潜ったあと浮上し、水面に浮いている事を確認してからクリアをしましょう。

●ジンベエザメシュノーケリングツアーにおける注意事項

- ・手や足、フィン、カメラ、または指示棒など如何なるものでもジンベエザメに触れてはならない。
- ・ジンベエザメに乗ってはならない。
- ・尾びれや背びれの付近、5メートル以内に近づいてはならない。
- ・ジンベエザメの進行方向を決して塞いではならない。
- ・海に飛び込んではいけない。
- ・ジンベエザメが捕食している時は、目の前2メートル以内に近づいてはならない。
- ・ジンベエザメを大人数で囲んではいけない。最大6人までで交代で観察することが望ましく、それ以上だとジンベエザメが怯えその状況を逃れようとその場を離れ、結果として他の人も観察することができなくなってしまうことがある。
- ・ルールに従わずボートマンたちを困らせないこと。ボートマンたちは、シュノーケラーに対する刑罰の権利を有する。違反者などは通報され、ペナルティを与えられることがある。
- ・安全のため、ジンベエザメの背後や上に直接近づかないこと。彼らは突然動き出すなど予測不能な動きをする場合がある。
- ・ジンベエザメは生き物に興味を持つ。また、餌を与えてくれるボートマンと勘違いし、餌を期待してあなたに近づいてくる場合もあるが、決して何も与えてはならない。
- ・海に入る前に日焼け止めや日焼けオイルを使ってはならない。
- ・ライフベストやライフジャケットの着用は義務である。
- ・カメラのフラッシュは禁止である。
- ・グローブの着用は禁止である。

ジンベエザメ シュノーケリングツアー 免責同意書 Whale shark Liability waiver

Participant Name

私、
は、シュノーケリング(スキンドайビング・素潜りを含む。以下「シュノーケリング活動」という)による活動が、重い傷害や死亡に至る、本質的に危険を伴うものであるという事をここに確認します。

私は、シュノーケリング活動によって一定の危険が伴い、医療施設での迅速な救急治療を必要とする傷害が生ずる可能性がある事も理解しています。さらに、離島でのシュノーケリング活動は、傷害の内容によっては、必要とされる治療が可能な医療施設から時間的にも距離的にも遠く離れている場合がある事も理解しています。私はまた、そのような医療施設が十分に完備されていない離島でのシュノーケリング活動であっても、このシュノーケリング活動に参加することを選択します。

私は、このシュノーケリング活動に参加した結果として、または下記免責当事者を含む当事者の過失の結果として生じる、消極的なものであれ積極的なものであれ、私と私の家族、財産、相続人または譲受人に対する傷害、死亡またはその他の損害については、私が参加するシュノーケリング活動を主催する PTN TRAVEL CORPORATION も、その従業員、代表者、役員、代理人、契約者もしくは譲受人、およびそれらの親族(これらを以下「免責当事者」という)も、いかなる形においても責任を負うことはない事を了解し、それに同意します。

また、このシュノーケリング活動への参加が許可された事を考慮して、このシュノーケリング活動に参加している間に私に生ずる可能性のあるいかなる傷害その他の損害、予測可能な損害であるか否かに関わらず、その責任の全てを私が個人的に負うことに同意します。よって私は、このシュノーケリング活動に参加した結果として発生した損害についての補償を望む場合には、あらかじめ自らの責任で保険に加入しなければならない事を理解しています。

私は、シュノーケリング活動が肉体的に激しい活動であり、十分な泳力を必要とするものだと理解しています。また、シュノーケリング活動に参加するに際しては十分な体調管理を自己責任において行う必要がある事を理解しています。また、心臓発作、パニック状態、水死その他による傷害を受けた場合には、私が上記明文によりその傷害の危険を引き受け、免責当事者にその責任を負わせない事をここに了承します。

私はさらに、成年に達しており、この免責同意書に署名する資格があるか、未成年の場合は私の親権者、保護者による同意を得て署名するものであります。また私は、ここに記載されている条件が契約であって単に注意書きにとどまるものではないことを理解しており、本書によって私の法的な権利を放棄することを承知のうえで私の自由意志でこの書式に署名するものです。さらに私は、本同意書のいずれかの規定が強制力をもたないか無効であるとわかった場合には、その規定を本同意書から分離することに同意します。この場合、その残りの規定には強制できない規定がなかったものとして解釈するものとします。

私は、本書により私が参加するシュノーケリング活動を主催する PTN TRAVEL CORPORATION および上記すべての関係者について、消極的なものであれ積極的なものであれ免責当事者の過失などを含めいかなる事由によるものであれ、人身傷害、財産損害または不法行為による死亡の一切の責任を免除することに同意します。

私は、この免責同意書について私自身および私の相続人のために、署名をする前にそれを読んでその内容を十分承知しています。

Participant Signature
参加者署名:

Date
記入日:

Signature of guardian if minor
(未成年の場合は、親権者の署名):

Date
(記入日):